

学習オリエンテーション

TAC公務員講座
警察官・消防官コース
2022年合格目標

学習オリエンテーションの内容

1. オリエンテーションの目的
2. 出題傾向
3. 科目別学習法
4. 学習の基本方針
5. TACの活用方法

1. オリエンテーションの目的

オリエンテーションの目的

↓

確実な最終合格に向けて、戦略的で効果的な学習スタイルを確立する。

2. 出題傾向 ※警視庁・東京消防庁以外は一例

	数的推理				文章理解		社会科学	人文科学	自然科学	国語	英語	合計
	数的推理	判断推理	空間把握	資料解釈	現代文	英文						
警視庁 警察官	6	5	4	2	6	2	9	8	4	2	2	50
県警 (5月) 警察官	6	9		2	3	5	9	9	7	-	-	50
東京 消防庁	5	4	1	5	5	2	7	3	10	2	1	45
政令市 消防	15			1	9		10	8	7	-	-	50
市役所 消防	12			1	7		8	6	6	-	-	40

2. 出題傾向

- 数的処理は可否の分かれ目となる最重要科目です。
- 社会科学も出題数が多いため、得点源にしましょう。
- 東京消防庁 I 類は自然科学の出題数が多く非常に重要です。地学は出題されません。
- 一部の市役所では人文科学や自然科学が出題されないなど、自治体によって試験科目が異なることがあるため、志望先の出題状況は必ず自分で確認しましょう。

3. 1 次試験対策 数的処理

- 科目は 4 つ
 - 数的推理
 - 判断推理
 - 空間把握
 - 資料解釈
- 早く始める
- 毎日取り組む

3. 1 次試験対策 文章理解

- 科目は 2 つ
 - 現代文
 - 英文
- 短時間で解けるようにする
- 定期的に取り組む

3. 1 次試験対策 一般知能分野

- 一般知能分野 = 数的処理 + 文章理解
- 早めにコツを掴む
- 何度も解いて慣れる

3. 1次試験対策 社会科学

- 科目はおおむね4つ
 - 法律 頻出分野：憲法
 - 政治 頻出分野：英米の政治制度・日本の選挙制度・地方自治・国際政治
 - 経済 頻出分野：時事に近いテーマ
 - 時事 近年ウェイトがあがっている。

3. 1次試験対策 人文科学

- 科目はおおむね4つ
 - 日本史 頻出分野：近現代史など社会科学と重なるところ
 - 世界史 頻出分野：同上
 - 地理
 - 思想・文芸

3. 1次試験対策 自然科学

- 分野はおおむね4つ
 - 数学 東消では4問も出る。二次関数、平面図形、確率などは数的処理と重なる。
 - 物理 頻出分野：物体の運動（特に加速運動や波の性質）、電気、磁気
 - 化学 頻出分野：原子・分子・イオンの性質、金属の知識
 - 生物 頻出分野：細胞、ヒトの解剖学・生理学と関連する知識
 - 地学 東消では出題なし。

3. 1次試験対策 一般知識科目

- 一般知識科目＝社会科学＋人文科学＋自然科学
- 頻出テーマに力を入れる
- 無駄な暗記はしない

3. 1次試験対策 漢字試験（警視庁のみ）

- 読み30問 書き30問 合計60問
- 難易度は平均すると漢字検定2～準2級レベル
- 過去問集に取り組んでおく
- 普段から「読めない」「書けない」漢字はすぐに調べる

3. 1次試験対策 論作文試験

- 時間：多くの自治体は40～90分程度
- 字数：多くの自治体は1000字程度
- テーマ：自分の経験、社会問題、地域特性、職業観など様々
- 配点比率が高くしっかりと対策をする必要がある

3. 2次試験対策 面接

- 個別面接はたいてい1～3回
- 集団面接や集団討論（グループディスカッション）がある自治体も
- 最も配点が高く、面接で合否が決まる

3. 論文・面接への対策

- 材料をつくる
 - 信頼できる情報を集める・自分の経験を整理する
 - 自分で考える
- 実践して質を上げる
 - 実際に書く・話す
 - 他人に評価してもらう

4. 学習の基本方針

- 講義はなるべく休まない
- 予習は原則不要
- 出題数の多い科目から
- 学習の順序を意識する
- 捨て科目はなるべくつくならい

5. TACの活用方法

- TAC WEB SCHOOLマイページ登録
- 日程表
- 担任講師制度
- 試験対策ゼミ
- 会員証
- 「今日のTAC」＝時間割・教室割
- 掲示板
- 自習室
- 休憩室